

湯上市スポーツ推進計画 (案)

平成31年2月現在

目 次

第1章 計画策定の基本的な考え方

- 1 スポーツの果たす意義と役割・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画策定の趣旨と位置づけ・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・ 2
- 4 潟上市の概況・・・・・・・・・・ 2

第2章 スポーツの現状と課題

- 1 スポーツを取り巻く社会情勢と役割・・・・・・・・・・ 6
- 2 生涯学習・スポーツに関する市民意識調査・・・・・・・・・・ 7
 - (1) アンケート調査の回収率及び年代等・・・・・・・・・・ 7
 - (2) 過去1年間の運動について・・・・・・・・・・ 8
 - (3) 運動やスポーツを行う目的・・・・・・・・・・ 8
 - (4) 運動やスポーツをしていない理由・・・・・・・・・・ 8
 - (5) 総合型地域スポーツクラブについて・・・・・・・・・・ 8
 - (6) 入会しているクラブ・サークル・同好会・・・・・・・・・・ 8
 - (7) スポーツ推進を図るうえで市が力をいれるべき点は何か・・・・・・・・・・ 9

第3章 基本政策と具体的展開

- 1 子どものスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・ 9
- 2 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・ 10
- 3 競技力向上を目指す選手の育成・強化・・・・・・・・・・ 12
- 4 スポーツ施設の適切な管理運営・・・・・・・・・・ 13

第4章 計画実現に向けた推進体制

- 1 推進体制の役割・・・・・・・・・・ 15
- 2 計画の進捗状況の検証と計画の見直し・・・・・・・・・・ 16

参考資料（生涯学習スポーツに関する市民意識調査内容）

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 スポーツの果たす意義と役割

今日、私たちを取り巻く生活環境は、日々大きく変化しています。情報化社会の進展や労働形態の変化などにより便利で快適な生活ができるようになった反面、運動不足やストレスの増加による健康寿命への影響が懸念されています。また、自由時間の増大や高齢化の進展は明るく健康な生活への意識・関心を高め人々は以前にも増して健康で明るい豊かな生活を強く求めるようになってきました。

子どもたちにおいては、学校週5日制の完全実施により自由時間が増大したにもかかわらず体を動かす機会の減少や生活習慣の不規則などにより体格の向上に相反し体力・運動機能が低下しているという現状が明らかになりました。

スポーツは、子どもたちが豊かな人間性を培い、自ら学び、自ら考えるといった「生きる力」を身に付けるうえで極めて重要な要素であり、体力向上は次代を担う子どもたちの心身健全な発育・発達のため社会全体で取り組まなければならない大きな課題です。

一方、私たちはスポーツに親しむことによって体を動かすという人間の本源的欲求を図るとともに、爽快感・達成感・連帯感等、精神的な充足も図り、さらには体力向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果を得ています。また、スポーツには人間の可能性の極限を追求する営みという意義もあり、競技スポーツに打ち込む選手のひたむきな姿や高い技術は人々のスポーツへの関心を高め、夢や感動を与えるなど活力ある健全な社会の形成に大きく貢献するものです。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、日本代表選手の活躍や震災からの復興、景気回復等にも期待が高まっています。本県においても、海外ナショナルチームの事前合宿誘致や観光客の誘客など交流人口の拡大に向けてプロジェクトを立ち上げておりその気運は高まっています。

2 計画策定の趣旨と位置づけ

平成23年6月に「スポーツを通じて豊かな生活を営むことは全ての人々の人権である」ことを明記した『スポーツ基本法』が制定されました。この法律では、スポーツを取り巻く現代的課題をふまえスポーツに関する基本理念を定め、国・地方公共団体の責務やスポーツ団体等の努力等を明らかにするとともにスポーツに関する施策の基本となる事項を規定しています。

本市においては、国の「スポーツ基本計画」や「秋田県スポーツ推進計画（スポーツ立県あきた推進プラン）」を参酌しながら、第2次潟上市総合計画及び第3次潟上市

生涯学習推進計画基本目標基本政策に掲げている「スポーツ活動の推進」を具現化するとともに市の特性に合わせた施策を策定するものです。また、目標達成に向け関係団体等と連携・協働し推進していくための計画として本計画を位置づけます。

3 計画の期間

計画の期間は、平成 31 年度から 35 年度までの 5 年間とし、必要に応じて見直しを行います。

4 潟上市の概況

本市は秋田県のほぼ中央の沿岸部に位置し、東は井川町、南は秋田市、西は男鹿市と隣接し、北は八郎湖を挟んで大潟村と接しています。

東部は南北に縦走する国道 7 号の周辺に小高い丘陵（女川層）が多数連なっており、出羽丘陵に続いています。中央部及び北部は秋田平野の北辺部として八郎湖に向かって広大な田園地帯が広がっており、肥沃な穀倉地帯となっています。西部は県内有数の 3 本の砂丘群が連なっているほか、日本海に面した沿岸部は、秋田市から続く海岸砂丘となっており、秋田県の保健保安林に指定されています。砂丘群の間は集落や畑地、樹園地として活用されています。また、本市は秋田自動車道、日本海沿岸東北自動車道等高速交通体系が整備され、秋田空港から車で 30 分程度の距離にあるなど首都圏へのアクセス性も高まっています。さらに、県都秋田市に隣接したベッドタウンという都市的な特性と広大な田園風景に代表される豊かな自然環境を併せ持っており、こうした恵まれた地勢を生かした魅力あるまちづくりが期待される地域です。

（1）人口

国勢調査によると本市の人口は、三町が合併した 2005 年（平成 17 年）の 35,814 人をピークに、2010 年（平成 22 年）の調査では 34,442 人と減少をはじめており、2017 年（平成 27 年）調査では、前回比 1,359 人少ない 33,083 人となっています。

こうした傾向は今後も続き、人口の動向分析や将来展望をまとめた「潟上市人口ビジョン」では「潟上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策・事業が効果的に人口動態に作用することを前提とすることで、総人口は 2025 年に 30,205 人、2035 年に 27,368 人、そして 2060 年に 21,064 人になるものと予測しています。

（2）面積と自治会

本市の面積は、97.96 平方キロメートルと県内 25 市町村中 23 位にあたり、13 市の中では一番小さな市です。コンパクトであることから、コミュニティとしてまとまり

やすいという比較的恵まれた条件にあります。

このような中で、本市の自治会等は全体で 112 組織ありその内訳は、天王地区 47、昭和地区 36、飯田川地区 29 でそれぞれにコミュニティ活動が行われています。

(3) 学校・保育園等

本市の小学校は、天王地区に 4 校、昭和・飯田川地区に各 1 校あり児童数合計は 1,438 人です。中学校は天王地区に 2 校、昭和地区に 1 校あり生徒数は 834 人です。(平成 30 年 5 月 1 日現在 学校基本調査)

保育園・幼稚園等は、7 園で天王地区 5 園、飯田川地区 1 園、昭和地区 1 園となっています。旧昭和庁舎を改築し、昭和 3 地区の保育園を統合した幼保連携型認定保育園「昭和こども園」は、平成 30 年 4 月 1 日にオープンしています。

潟上市小学校児童数の推移 (H26～H30 学校基本調査による)

(単位：人)

学校名	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
天王小学校	443	447	409	389	374
出戸小学校	235	243	215	209	205
東湖小学校	112	100	90	85	88
追分小学校	373	376	358	354	357
大豊小学校	284	265	256	243	235
飯田川小学校	198	205	195	178	179
合計	1,645	1,636	1,523	1,458	1,438

潟上市中学校児童数の推移 (H26～H30 学校基本調査による)

(単位：人)

学校名	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
天王中学校	309	295	316	288	275
天王南中学校	337	327	331	334	322
羽城中学校	287	270	245	247	237
合計	933	892	892	869	834

潟上市保育児童数 (H26～H30 要保育児童の実態調査による)

(単位：人)

区分	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
認定保育所 (入所児童)	615	439	456	438	336

幼保連携型認定こども園（１号認定）		85	81	96	99
幼保連携型認定こども園（２号認定）		182	196	186	310
地域型保育実施施設				11	13
事業所内保育施設	19	19	15	6	28
認可外保育施設	14	21	39	21	29
認定こども園（幼稚園型・地方裁量型）保育所機能部分	13	11	4	18	18
幼稚園（公立）	198	91	94	87	75
幼稚園（私立）	51	38	41	44	39
認定こども園（保育所型）幼稚園機能部分	15	12	14	19	0
合計	925	898	940	926	947

（４）スポーツ施設

本市には、総合体育館、野球場、テニスコート、プール、グラウンドゴルフ場など、さまざまなスポーツ施設があり多くの市民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しんでいます。また、スポーツを始めるきっかけづくりやコミュニティ活動の促進を図るべく各種大会を開催しています。

施設名	所在地	電話
天王総合体育館	渦上市天王字持長根 93 番地 1	8 7 8 - 3 2 3 2
昭和体育館	渦上市昭和大久保字元木田 179 番地	8 7 7 - 6 9 0 4
飯田川体育館	渦上市飯田川下蛇川字八ッ口 82 番地	8 7 7 - 4 9 5 9
飯田川ふれあいスポーツ会館	渦上市飯田川和田妹川字岩崎 8 番地 4	8 7 7 - 4 1 4 6
天王 B & G 海洋センター（体育館）	渦上市天王字羽立片山 254 番地 2	8 7 8 - 6 9 5 5
天王 B & G 海洋センター（プール）	渦上市天王字持長根 93 番地 2	8 7 8 - 9 2 0 2
飯田川 B & G 海洋センター（プール）	渦上市飯田川和田妹川字岩崎 2 番地 5	8 7 7 - 4 1 4 6
渦上市天王海洋センター艇庫	渦上市天王字天王 281 番地内	—
鞍掛沼公園多目的広場（陸上競技場）※器具庫含	渦上市天王字蒲沼 92 番地 8	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
フットボールセンタークラブハウス	渦上市天王字蒲沼 30 番地	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
長沼球場	渦上市天王字長沼 144 番地 1	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
長沼球技場（管理棟）	渦上市天王字上北野 4 番地 64	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
長沼テニスコート（管理棟倉庫）	渦上市天王字上北野 4 番地 283	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
元木山陸上競技場（管理事務所）	渦上市昭和大久保字元木山根 118 番地	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
元木山球場	渦上市昭和大久保字元木山根 118 番地	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
飯田川南公園グラウンド（野球場）	渦上市飯田川下蛇川字蟹沢 12 番地 1	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5)
天王多目的健康広場・グランパスくらかけ 管理棟（グラウンドゴルフ場）	渦上市天王字蒲沼 92 番地 11	パークセンター（指） (8 7 0 - 6 0 0 5) グランパスくらかけ (8 7 8 - 7 2 7 7)

飯田川二荒山グラウンドゴルフ場（管理事務所）	鴻上市飯田川下蛇川字蟹沢 12 番地 1	パークセンター（指） 877-3255
天王中央庭球場	鴻上市天王字持長根 93 番地 3	天王総合体育館 (878-3232)
天王相撲場	鴻上市天王字持長根 118 番地 2	天王総合体育館 (878-3232)
天王剣道場	鴻上市天王字宮の後 1 番地 5	天王総合体育館 (878-3232)
天王柔道場	鴻上市天王字宮の後 3 番地 1	天王総合体育館 (878-3232)
昭和武道館	鴻上市昭和大久保字元木田 160 番地 1	昭和体育館 (877-6904)
天王一向球場	鴻上市天王字一向 67 番地 1	天王総合体育館 (878-3232)
天王湖岸球場	鴻上市天王字羽立片山 254 番地 1	天王総合体育館 (878-3232)
天王緑の健康広場・テニスコート	鴻上市天王字鶴沼台 43 番地 220	天王総合体育館 (878-3232)
野村多目的運動広場	鴻上市昭和大久保字北野白洲野上 37 番地 1	文化スポーツ課 (853-5363)
上二田運動公園	鴻上市天王字持谷地 198	文化スポーツ課 (853-5363)
昭和介護予防センター	鴻上市昭和大久保字堤の上 1 番地 3	877-7785
昭和交流センター	鴻上市昭和大久保字元木田 12 番地 1	文化スポーツ課 (853-5363)

（５）スポーツ団体

本市の体育協会は、21 の競技団体においてそれぞれの種目の普及・強化に努めており従来、市が主催していたスポーツ事業も移管事業として実施するなど、本市のスポーツ事業を牽引しています。現在、より一層の社会体育の普及発展と競技力向上を図り、健康・体力づくり及びスポーツ文化の発展に寄与するためには組織力の強化が必要と考え、体育協会の法人化をめざしています。

スポーツ少年団は、平成 30 年度で 35 団、団員 641 人、指導者 320 人となっています。また、海洋性スポーツ・レクリエーション事業を中心に実践活動を通じ、海事思想の普及と体力向上をめざす海洋少年団・海洋クラブ員は 20 人となっています。

市スポーツ推進委員は 22 人により各種スポーツ事業に尽力しています。また、地域に根ざした自主的なスポーツクラブとして活動する「総合型地域スポーツクラブ」は市内に 3 クラブ（天王 2、昭和 1）あり、各地域でスポーツ活動を展開しています。

体育協会加盟団体一覧

（平成 30 年 4 月現在）

NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名
1	グラウンドゴルフ協会	2	ゲートボール協会	3	剣道連盟
4	ゴルフ協会	5	柔道連盟	6	相撲連盟
7	ソフトテニス協会	8	テニス協会	9	バスケットボール協会
10	バドミントン協会	11	バレーボール協会	12	野球協会
13	陸上競技協会	14	ソフトボール協会	15	卓球協会

16	サッカー協会	17	綱引協会	18	レスリング協会
19	スキー協会	20	射撃協会	21	ペタンク協会

スポーツ少年団一覧

(平成31年3月現在)

NO	団名・団員数		NO	団名・団員数		NO	団名・団員数	
1	東湖剣道	※	2	東湖ミニバスケットボール	18	3	東湖ブルーレイプス野球	※
4	天王剣道	15	5	天王サッカー	32	6	天王柔道	14
7	天王少林寺拳法	※	8	天王バスケットボール	24	9	天王女子ミニバスケットボール	24
10	天王ヴィクトリーズ野球	20	11	天王ラグビー	※	12	出戸剣道	7
13	出戸ミニバスケットボール	16	14	出戸野球	13	15	出戸浜ラグビー	24
16	追分剣道	8	17	追分フライングラビッツMBC	12	18	追分野球	26
19	F. C追分ウイングス	25	20	大豊ドラゴンナインズ野球	※	21	豊川グリーンナインズ野球	※
22	昭和剣道	12	23	昭和レスリング	7	24	昭和サッカー	19
25	大豊男子ミニバスケットボール	16	26	大豊女子ミニバスケットボール	13	27	豊川ミニバスケットボール	※
28	大久保卓球	※	29	昭和ラグビー	23	30	飯田川レスリング	17
31	飯田川剣道	10	32	飯田川イーグレッツ野球	※	33	飯田川ラグビースクール小等部	26
34	飯田川ラグビースクール中等部	19	35	鴻上市飯田川ドッジボール	※	36	飯田川水泳	※
37	飯田川男子ミニバスケットボール	13	38	飯田川女子ミニバスケットボール	10	39	飯田川相撲	※
40	羽城柔道	14	41	出戸スティンガーサッカー	22	42	追分RC	73
43	天王キッズクラブ	8	44	鴻上バレーボール	15	45	鴻上インパルスバレーボール	11
46	追分勲武館レスリング	15	47	羽城ジュニア野球	20	団員数 計		641

※活動休止中

第2章 スポーツの現状の課題

1 スポーツを取り巻く社会情勢と役割

本市では、健康に対する意識の高まりなどにより健康づくりやスポーツに対するニーズが年々多種多様化しています。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し市民のスポーツに対する関心の高まりが予想され、本県においても「ス

ポーツ立県あきた」を宣言し元気で活力ある秋田をめざしています。

このような中、本市ではスポーツの力で健康づくりや仲間づくり、地域活性化の一助にと平成 25 年度から住民総参加型の全国イベント「チャレンジデー」に全市を挙げて参加しているほか、体育協会やスポーツ推進委員等と連携を図りながら、各スポーツ施設を活動拠点に市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、各種セミナー・大会等を開催しています。

健康は「適度な運動とバランスのとれた食事が大切」といわれていますが、生活習慣病とその予備軍の増加や精神的なストレスなど、健康に不安を抱える市民が増えている中、心身ともに健全な生活を送るために生涯スポーツのさらなる普及・定着を図る必要があります。また、誰でも気軽にスポーツができる環境を広げるため住民主体による自主・自立した総合型地域スポーツクラブにおけるマネジメントスタッフの育成が課題でもあります。

スポーツは体力増進や健康・仲間づくりだけでなく、青少年の健全育成や地域コミュニティの醸成などの役割を担っておりスポーツ振興の必要性は重要となってきました。

2 生涯学習・スポーツに関する市民意識調査

本市では、平成 29 年度に「第 3 次潟上市生涯学習推進計画」を策定しました。この計画は「次代の人が育つ生涯学習都市」をめざしすべての市民が心豊かに暮らし生涯にわたって学び文化的な活動が活発に行えるよう、潟上市の生涯学習行政の方向性を明確にするために策定されました。

計画策定にあたっては、市民の意見を反映させるべく 18 歳以上の市民の中から 2,000 名を無作為に選定し、生涯学習及びスポーツに関するアンケート調査を行っています。その結果を参考にしながら本市スポーツ推進計画を策定したものです。

(1) アンケート調査の回収率及び年代等

アンケート調査の回収率は 35 パーセント 700 名で、内訳は男性 292 名、女性 403 名となっています。

年代別では、10 代 5 名、20 代 35 名、30 代 55 名、40 代 128 名、50 代 99 名、60 代 212 名、70 代 161 名と 60 代と 70 代で回収率の 54 パーセントを占めています。

仕事別では、勤め人が 236 名・34 パーセント、無職 165 名・24 パーセント、専業主婦・主夫 142 名・20 パーセントと上位を占めており、居住地区別では、天王地区 424 名・64 パーセント、昭和地区 135 名・20 パーセント、飯田川地区 106 名・16 パーセントとなっています。

※数字に差違があるのは設問に回答が無かったため及び複数回答によるため。

(2) 過去 1 年間の運動について

「過去 1 年間に運動やスポーツをしましたか。」の設問に対し、男女 684 名中「はい」と答えた人は 369 名、「いいえ」と答えた人は 315 名でした。

実施した運動やスポーツの中で一番多いのは、犬の散歩や買い物を含めたウォーキングの 122 名・33 パーセントで、2 位のグラウンドゴルフ、パークゴルフ等の 36 名・10 パーセントを大きくリードしています。実施頻度については、週 3 回以上が 150 名・31 パーセント、週 1～2 回が 138 名・28 パーセントとなっています。

また運動方法は、個人的に行う方が 324 名・70 パーセントを占めています。

(3) 運動やスポーツを行う目的

スポーツを行う目的については「健康・体力づくり」が 279 名・29 パーセント、「運動不足解消」が 260 名・27 パーセント、「楽しみ・気晴らし」が 184 名・19 パーセントと、この 3 項目で全体の 75 パーセントを占めており、健康志向を目的にしていることが分かります。

(4) 運動やスポーツをしていない理由

過去 1 年間に運動やスポーツをしていない方で一番多いのは「仕事や家事が忙しくて時間がない」と答えた方が 549 名中 180 名で全体の 33 パーセントを占めています。

また「始めるきっかけがない」は、72 名 13 パーセント、「特に理由がない」66 名 12 パーセントとなっておりスポーツ振興を図るうえでどのように「きっかけづくり」をしていくかが今後の課題でもあります。

(5) 総合型地域スポーツクラブについて

地域の皆さんが主役になって自ら運営・管理するスポーツクラブですが、671 名中「知っている。言葉だけ聞いたことがある。」と答えた方は 211 名 31 パーセントで、「知らない」と答えた方は 460 名 69 パーセントと知名度の低さがわかります。

また運動やスポーツをサークルや同好会等で行っている方は、118 名 18 パーセントで「参加していない・今後も参加したいと思わない」と答えた方は 377 名 56 パーセントと組織に属しないで個々で行う方が多いように思われます。

(6) 入会しているクラブ・サークル・同好会

運動やスポーツをサークル・同好会などに入会して行っている方は、全体 (669 名) の 18 パーセント (118 名) と少ないですが、どのようなサークルや同好会等で活動し

ているか見てみると、友人や仲間構成しているクラブ・サークルが 34 パーセントと一番多く、次いで地域や地区のサークル等で 25 パーセントとなっており気軽に参加できるクラブ・サークルに入会していることがわかります。

また、今後どのようなクラブ・サークルに参加したいかについては「市が主催する講座や教室」が 29 パーセントと一番多く、行政への期待の高さが伺えます。

(7) スポーツ推進を図るうえで市が力を入れるべき点は何か

この設問に対しては、回答者 1,632 名中（複数回答）150 名・9 パーセントの市民が「スポーツ施設の整備が必要である」としています。また「健康・体力相談やトレーニング指導、スポーツ教室やイベント、指導者の育成・確保、情報発信の強化」に力を入れるべきとした市民は 791 名・47 パーセントを占めており施設整備より各種事業の充実が求められる結果となっています。

第 3 章 基本施策と具体的展開

1 子どものスポーツ活動の推進

【現状と課題】

少子化の進展により、地域内でスポーツや運動や遊びなどで体を動かす機会が少なくなりました。

スポーツは、子どもたちにとって体力向上はもとより心身の健全な発達を促し、特に自己責任や克己心・フェアプレイの精神を養うとともに仲間や指導者との交流を通じながら、子どもたちのコミュニケーション能力を育成し豊かな心と他人に対する思いやりの心を育むなど、子どもたちの大きな成長の糧となっています。

一方、運動をする子どもとしない子どもの二極化が見られるなど子どもを取り巻く環境への配慮が重要となっています。

【施策の展開】

(1) 運動・遊びに親しむ機会づくり

○子どもの体力向上のためスポーツ少年団への加入促進を図るとともに、ジュニアスポーツ大会やイベント等を開催しスポーツに取り組むための「きっかけづくり」に努めます。

○親子で気軽に運動や遊びに親しむことができるようスポーツ教室を開催します。

○恵まれた海水面を活用したヨット・カヌー等の海洋性スポーツの普及に努めます。

(2) 安全対策とスポーツ環境づくり

○体育協会や総合型地域スポーツクラブ、海洋クラブなどのスポーツ団体と連携し、ながら、子どもと親子でできる運動の開催や情報提供を図ります。

○指導においては、特に心身への負担軽減や生活リズムへの影響を考慮し短時間で効果的な練習方法やけがの予防と安全面での配慮が必要です。このため、身近な指導者の発掘・情報の提供や研修会を実施し指導者の育成確保に努めます。

○地元出身や地域で活躍するアスリートが、将来において地域のスポーツ指導者として携わることのできる環境の整備と仕組みづくりに努めます。

2 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

【現状と課題】

スポーツは、心身の健全発達や体力の保持・増進など生涯にわたり健康で文化的な生活を営むうえで重要です。また、近年は「健康寿命」という言葉をよく耳にします。健康で自立した生活を送ることのできる期間を示したもので、WHO（世界保健機関）が発表（厚生労働省第11回健康日本21（第2次）推進専門委員会資料による）した日本人の平均健康寿命は男性が72.3歳、女性が77.7歳となっています。この健康寿命を延ばすためには、早い時期から健康な生活習慣を確立し「体のメンテナンス」「健康増進・発病予防」という一次予防の考え方を持って生活することが大切な時代になってきました。

本市においては、生涯を通じて誰もが参加しやすいスポーツ・レクリエーション活動の機会や体育協会やスポーツ推進委員等との連携により、市内の各体育館や屋外運動施設を拠点に各種大会やセミナーを開催しています。

潟上市生涯学習・スポーツに関する市民意識調査においても健康・体力相談やトレーニング指導、各種スポーツ教室・イベントの開催などの要望があることから指導者の育成・確保によるスポーツの推進を行っていく必要があります。

【施策の展開】

(1) スポーツ団体の育成・支援

○体育協会及びスポーツ少年団、海洋クラブの体制整備の強化に努めるとともに、体育協会の社会的認知と地位の向上を図るため「法人化」の支援を進めます。

○日常的にスポーツに親しむことのできる環境づくりのため、総合型地域スポーツク

ラブの育成や支援に努めます。また、体育協会やスポーツ推進委員と連携を強化し同クラブが地域スポーツ活動の拠点となるよう活動環境の整備を図ります。

(2) 日常スポーツの推進・情報提供

- 市民の体力づくりや地域間交流が活発に図られるよう、スポーツ関係団体と連携し、ニュースポーツの紹介や各種イベント・大会を開催します。また、これらの大会を支えるボランティアの確保育成に努めます。
- 誰もがスポーツに親しめるよう各種スポーツ大会等の情報提供に努めます。

(3) 指導者の育成・活用

- スポーツを行う目的は、体力づくりや友人・仲間との交流や美容・ダイエットなど様々であり、また年代によって志向が多様であるためライフスタイル・ステージに対応した指導者の養成確保に努めるながら生涯学習人材バンクの拡充、指導者講習会や研修会への派遣を促進していきます。

(4) スポーツ人口の底辺拡大

- 体育協会やスポーツ団体と連携しながら全県規模以上の大会を招致しスポーツに親しむきっかけづくりを促進します。また、県内にはプロスポーツや日本リーグ等で活躍しているチームがあり、そのアスリートが直接指導することでスポーツ愛好者の増加や次世代アスリートの発掘・育成につなげることができるスポーツ教室、イベントの開催を企画検討します。
- 健康寿命の延伸に向けた効果的な運動やプログラム策定を検討するとともに、スポーツへの無関心層に対し、興味・関心を喚起するための取り組みを進めます。また、スポーツ活動は継続しなければその効果を維持することは難しいとされており、運動を日常的に行うことができるよう意識の啓発を図ります。

(5) 障がい者スポーツの推進

- 障がいのある方にとってスポーツは、積極的な自立と社会参加を促進するうえから大変重要です。今後も、障がいのある方が心身の健康の維持・増進、心理的安定、楽しみづくり、仲間づくりや社会参加など、生きがいと潤いのある豊かな社会生活を送れるようスポーツ施設の整備や情報発信の充実に努めます。

(6) 事業推進の連携・協力

- 行政において「体力づくり」「健康維持・増進」の取り組みは、その目的や対象者に

よって健康推進課、社会福祉課、文化スポーツ課において個別に開催していることからより一層連携を強め事業の推進を図って参ります。

- 飯田川地区の旧八郎潟ハイツ跡地に建築された「トイレクかたがみ」は、本市の防災・健康拠点施設として健康推進事業に大きく貢献できることが期待されています。その施設の専門スタッフを中心に「健康・体力づくりの知識や啓発」に努めます。

3 競技力向上をめざす選手の育成・強化

【現状と課題】

潟上市で育った選手が、国際大会や全国大会で活躍する姿は、市民に夢や感動を与えるだけでなく青少年のスポーツに対する意識を高めます。

競技力の向上にあたっては、ジュニア期からの一貫した指導体制が重要であることから、スポーツ少年団から中学校部活動、高等学校部活動へと継続的にスポーツ活動ができる体制や環境づくりが必要です。また、コーチングなどの実践力を備えた指導者の確保が重要であり、トップアスリートが高度な技術や経験を伝えながら指導することは競技力向上だけでなくスポーツへの関心・意欲を高める効果をもたらします。

【施策の展開】

(1) ジュニア層の選手育成

- ジュニア期においては、年齢や体力、目的に応じて、指導者から適切な指導を受けられる環境が求められており、小学校から中学校、高等学校といった成長に合わせた指導体制が望ましいため、競技団体や学校体育団体と連携しながら、指導体制の確立に努めます。

(2) 競技選手の強化

- 上位大会で活躍できる選手を育成・強化するため、本市体育協会及び競技団体が行う各種育成強化事業等を支援します。
- 安心してスポーツに親しめるよう、スポーツの事故防止などに関する研修会を開催し周知啓発に努めます。
- AED（自動体外式細動器）の適切な維持管理を行うとともに講習会を開催し救命措置が適切に行える環境づくりに努めます。
- 体育協会では、スポーツの普及・振興と発展に功労があったスポーツ関係者や競技成績が優秀であった選手・チームについて表彰を行っており、選手にとって励みとなっています。今後もこれらの取り組みを継続します。

4 スポーツ施設の適切な管理運営

【現状と課題】

本市の屋内体育施設は、天王総合体育館をはじめ、大規模な施設から中規模施設まで、そのほとんどが築30年以上経過しています。また、これらの体育施設は避難所としての機能も有しており耐震対策が必要としています。

地域によっては人口の増減や世代構成等の変化も見込まれるため、状況変化や市民のニーズに合わせた適切な維持、補修や既存施設への統廃合を進める必要があります。

【施策の展開】

(1) スポーツ施設の整備・充実

- 誰もが安全で快適にスポーツに親しめる環境や日常的に行われるスポーツ活動の場を確保するため身近なスポーツ施設の維持整備に努めます。
- 市民が安全にスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境をつくるため施設のバリアフリーや耐震化等の安全対策を進めます。

(2) スポーツ施設の再編

- 本市は、旧町時代において同時期に類似した施設が整備されていたこともあり、機能が重複又は地理的に集中している施設は、利用状況や地域のバランスなどを総合的に勘案し再編や統廃合を進めていきます。
- 体育館などの施設については、集約化や指定管理制度の導入を検討し維持管理費の削減に努めながら、柔道場や剣道場、その他体育施設は、立地条件等をふまえ学校等への管理移管の見直しを進めていきます。

(3) 学校体育施設の有効活用

- 学校体育施設の有効活用が図られるよう、施設の利用形態、管理運営等について、学校現場との連携により、利用の拡充を検討していきます。

体育施設の利用状況（平成25年度～平成29年度）

単位（人）

施設名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
体育館	62,505	59,640	58,049	59,624	64,222
天王総合体育館	27,617	26,346	27,305	24,987	27,784

天王 B&G 海洋センター	10,654	10,523	10,034	10,672	11,552
昭和体育館	12,816	12,776	10,417	13,441	13,486
飯田川体育館	11,418	9,995	10,293	10,524	11,400
武 道 館	25,306	22,083	23,890	23,972	22,646
天王剣道場	4,100	6,085	4,473	4,707	4,870
天王柔道場	11,136	5,351	8,234	8,605	7,319
天王相撲場	0	0	0	0	15
昭和武道館	644	606	647	1,471	606
飯田川ふれあいスポーツ会館	9,426	10,041	10,536	9,189	9,836
野 球 場	24,240	22,429	23,325	25,486	22,987
長沼球場	11,744	10,877	12,773	14,874	13,841
天王一向球場	2,472	1,697	1,208	1,276	2,029
天王湖岸球場	367	495	488	277	625
元木山球場	7,578	5,051	6,039	5,150	3,439
飯田川グラウンド	1,772	2,231	2,289	3,049	2,193
野村多目的運動公園	307	2,078	528	860	860
陸上競技場	40,237	36,593	46,913	42,158	40,015
鞍掛沼（陸上競技場・フットボールセンター）	32,105	28,664	37,587	35,872	33,569
元木山陸上競技場	8,132	7,929	9,326	6,286	6,446
グラウンドゴルフ場	42,829	38,496	48,499	44,437	40,864
天王多目的健康広場	33,971	29,234	35,079	33,099	29,981
飯田川二荒山グラウンドゴルフ場	8,858	9,262	13,420	11,338	10,883
プ ー ル	9,174	11,666	9,422	9,242	7,326
天王 B&G 海洋センター	4,240	5,867	4,963	4,962	3,453
飯田川 B&G 海洋センター	4,934	5,799	4,459	4,280	3,873
テニスコート	3,443	2,104	1,583	2,167	1,992
天王中央庭球場	3,128	1,946	1,412	1,863	1,918
長沼テニスコート	217	148	135	245	0
天王緑の健康広場	98	10	36	59	74
他体育施設	14,480	15,192	19,028	16,052	15,900
長沼球技場	3,630	4,225	8,179	6,373	5,960
昭和介護予防センター	10,672	10,466	10,037	9,016	9,493

天王海洋センター艇庫	178	501	812	513	297
上二田運動広場	0	0	0	150	150
昭和交流センター	0	0	0	0	0
合計	222, 214	208, 203	230, 709	223, 138	215, 952

第4章 計画実現に向けた推進体制

1 推進主体の役割

本計画を推進していくためには、市民やスポーツ関係団体、市の役割を明確にし、相互の連携や協働を図りながら、一体となってスポーツ推進にいく必要があります。

(1) 市民の役割

- 健康や体力づくりに興味や関心を持ち、さまざまなスポーツ活動に積極的に取り組みます。
- スポーツに関する地域行事に参加し、地域コミュニティを活性化させるとともに、スポーツボランティアとして積極的に協力します。

(2) スポーツ関係団体の役割

- スポーツが市民生活や地域社会において果たす役割の重要性を重視し、スポーツ推進に積極的な役割を担います。
- 優れた指導者や審判員の育成・確保を図り、日常スポーツの底辺拡大や競技レベルの向上に努めます。
- 体育協会や総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、スポーツ教室やイベントを開催し、市民にスポーツに親しむ機会の提供に努めます。

(3) 市の役割

- 国や県のスポーツ事業を参酌しながら、市の各種計画（第2次潟上市総合計画・潟上市公共施設等総合管理計画）によるスポーツ施策の総合的な取り組みを推進します。
- 本計画を広く周知し、スポーツに対する市民の関心と理解を深めます。
- スポーツの情報収集、分析、提供を行います。
- 市民やスポーツ関係団体との連携を密にして協働でスポーツ振興に取り組みます。

2 計画の進捗状況の検証と計画の見直し

本計画を着実に推進するためには、絶えず進捗状況の検証を行い、必要な施策を講

じるとともに、検証結果を5年後の見直しに反映させることが重要です。

また、計画が未達成の場合には、設定目標の妥当性を含めて原因を検証することが必要であり、計画内容の見直しにあたっては、社会情勢やスポーツ界の動向などをふまえ、効果的な改善方策を検討していきます。

※スポーツ大会、イベントの写真添付

参考資料（生涯学習スポーツに関する市民意識調査内容）

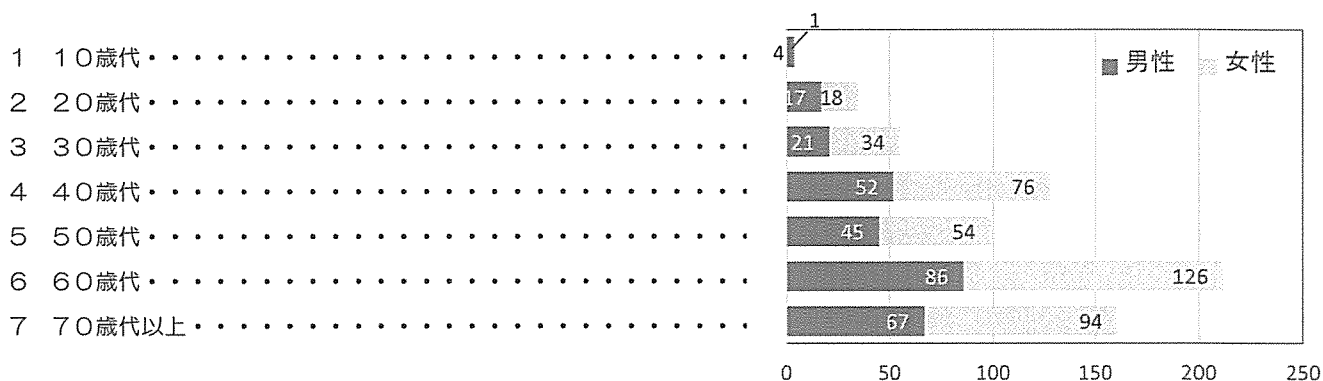
潟上市生涯学習・スポーツに関する市民意識調査（平成29年8月実施）

配布人数：2,000 人

回答人数：700人（回収率：35%）

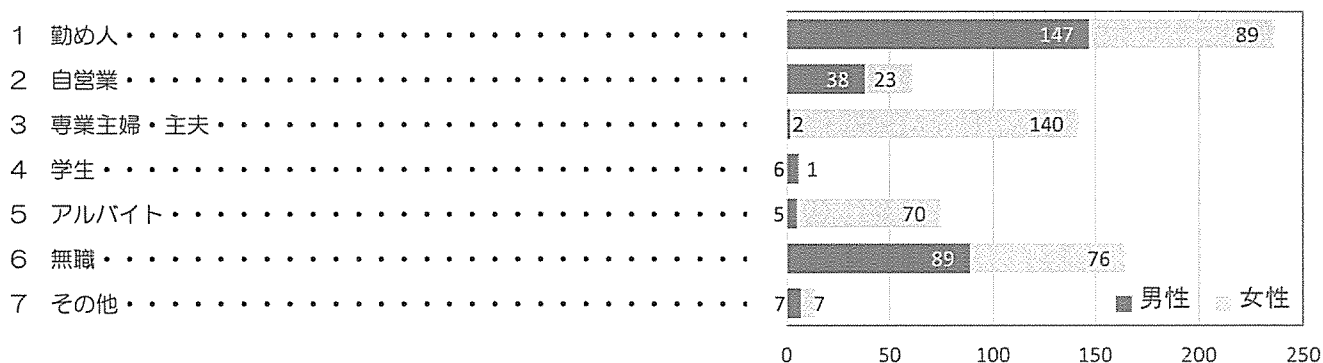
年齢

男性 292人：女性 403人



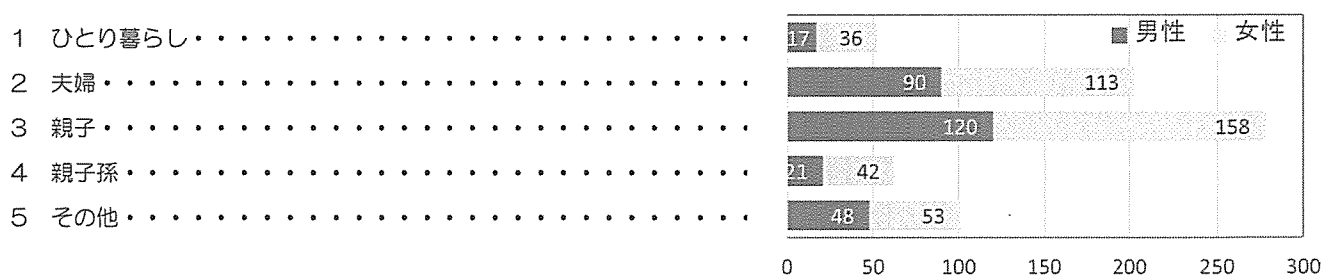
お仕事

男性 294人：女性 406人



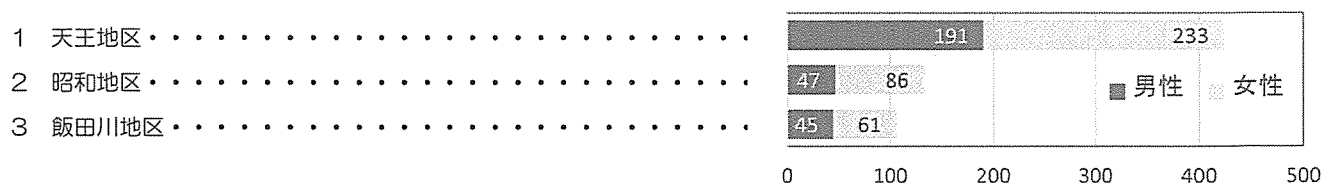
家族構成

男性 296人：女性 402人



居住地区

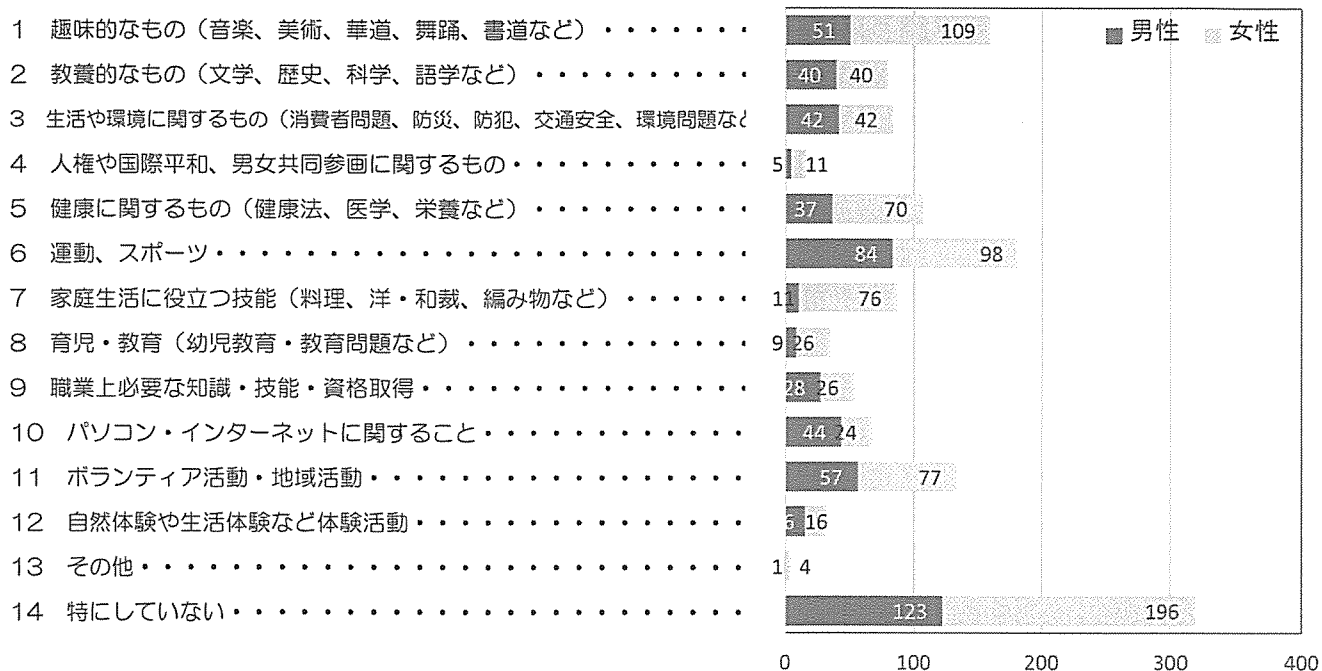
男性 283人：女性 380人



『生涯学習活動に対する意識や活動』

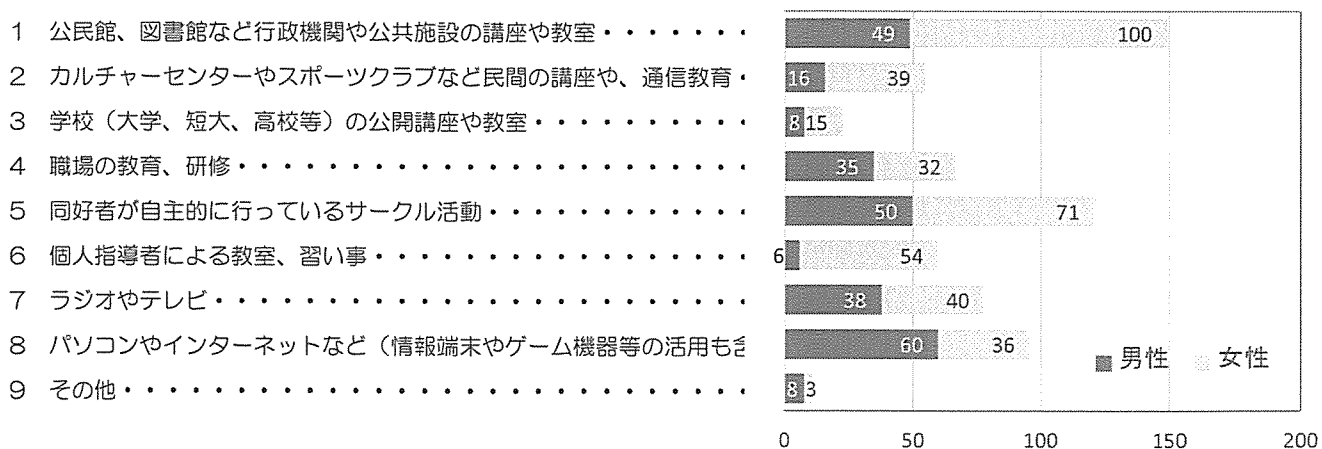
問1 あなたは過去1年間にどのような生涯学習を行いましたか。

男性 548人：女性 815人



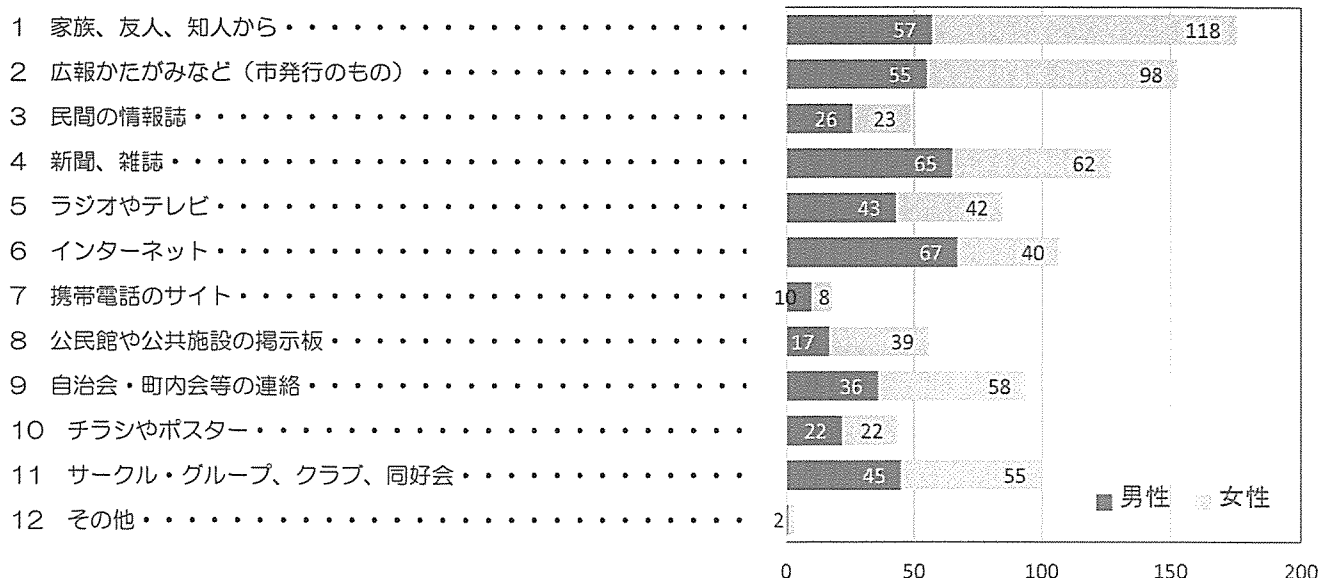
問2 問1で1～13のいずれかを選択した方にお聞きします。あなたは、どのような方法・機会を利用して生涯学習を行っていますか。

男性 270人：女性 390人



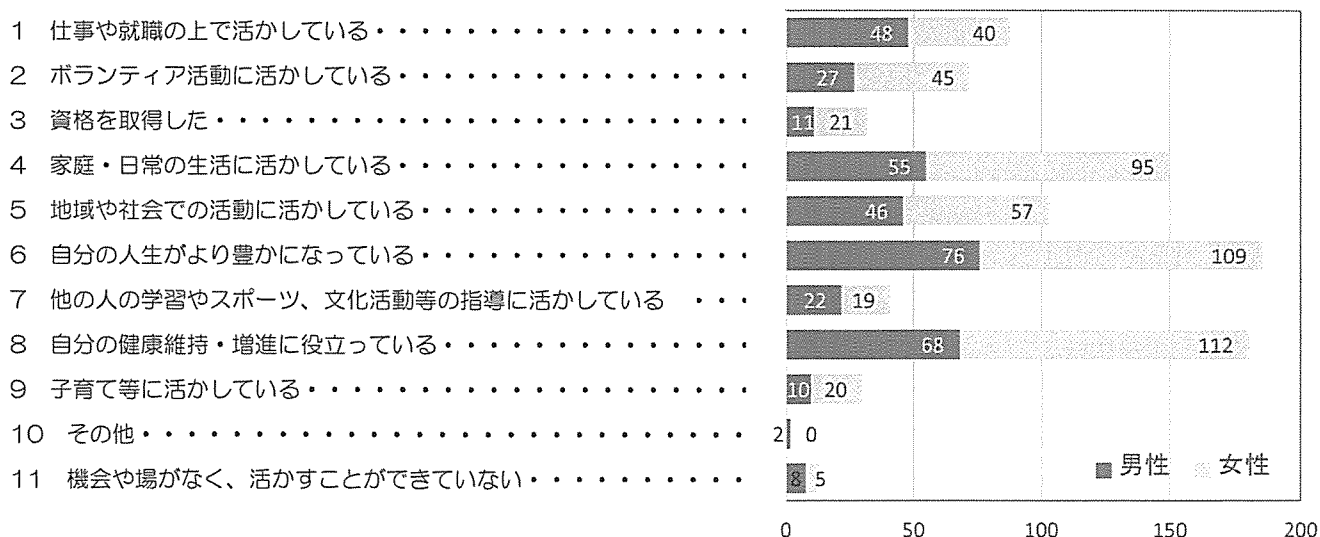
問3 問1で1～13のいずれかを選択した方にお聞きします。あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。

男性 444人：女性 567人



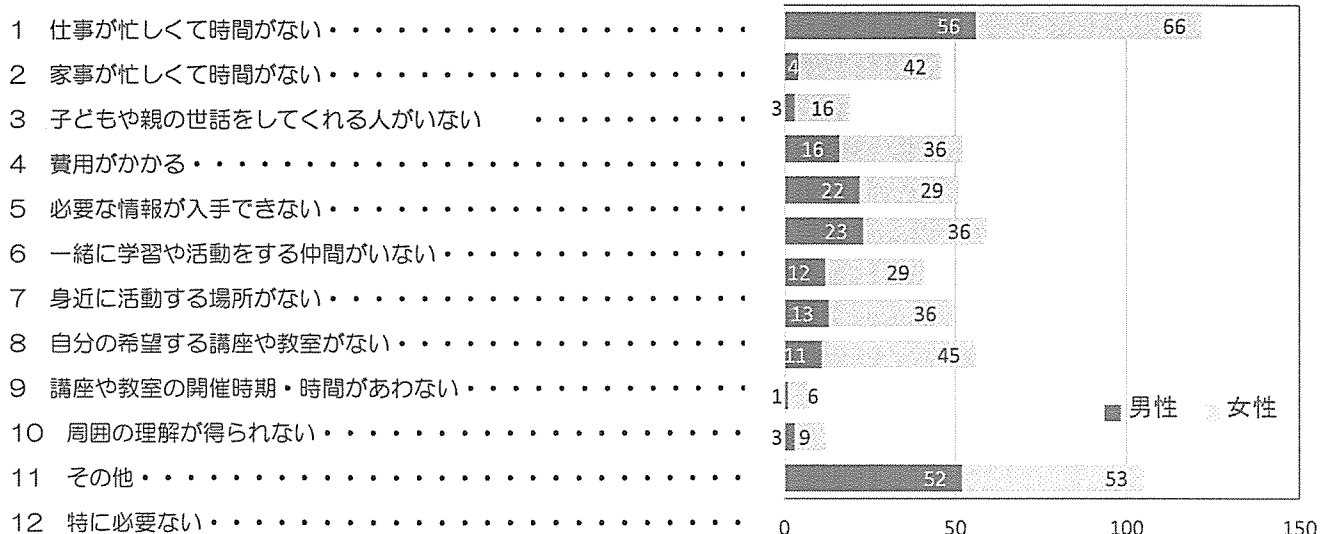
問4 問1で1～13のいずれかを選択した方にお聞きします。あなたは、生涯学習で身につけた知識・技能をどのように活かしていますか。

男性 373人：女性 523人



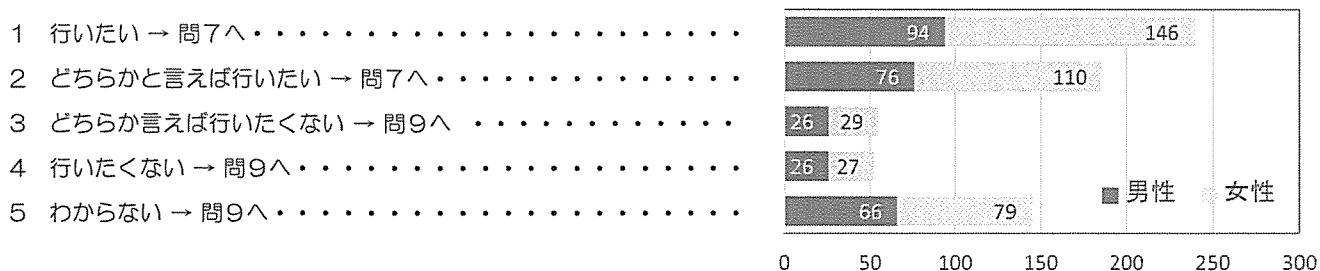
問5 問1で「14. 特にしていない」を選択された方にお聞きします。過去1年間で生涯学習をされていない理由は何ですか。

男性 216人：女性 403人



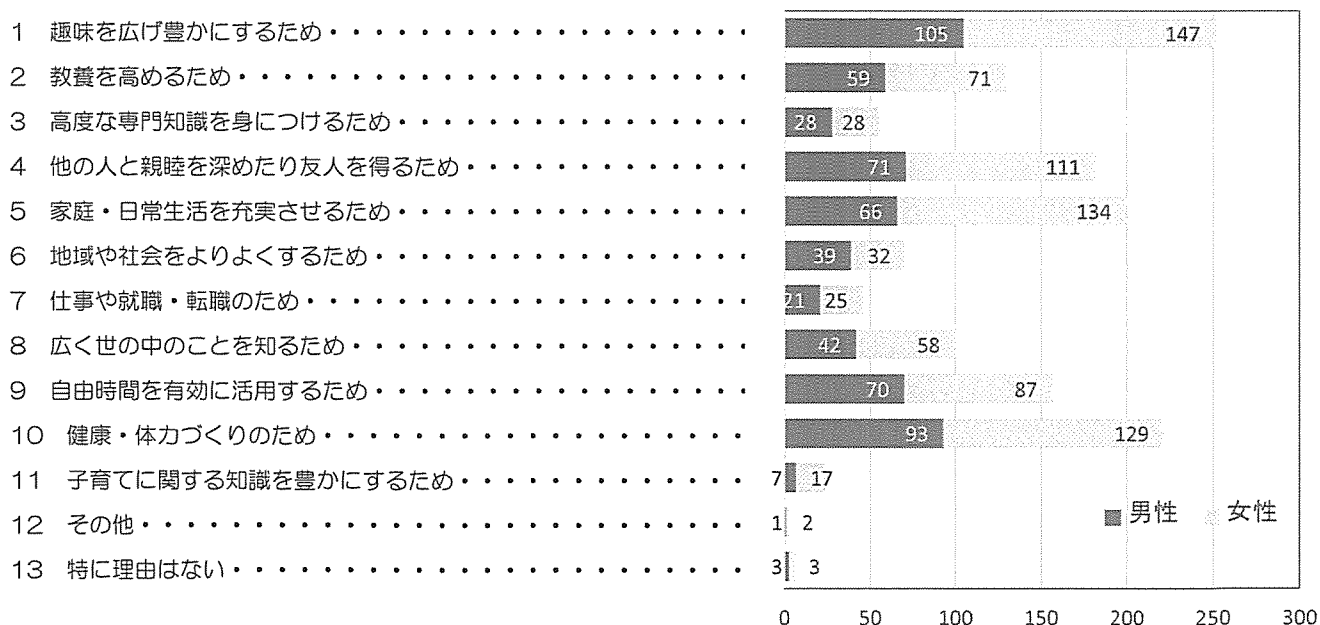
問6 あなたは、今後、生涯学習を行いたいですか。

男性 288人：女性 391人



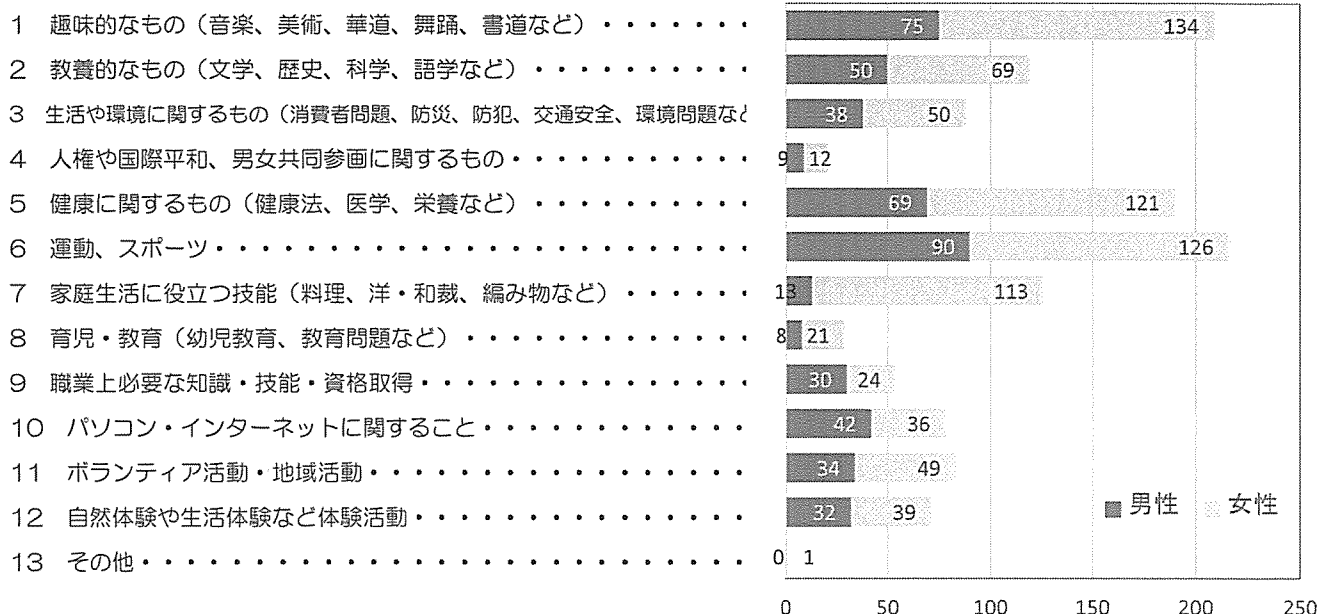
問7 問6で「1. 行いたい」もしくは「2. どちらかと言えば、行いたい」を選択した方にお聞きします。あなたが生涯学習を行いたい理由は何ですか。

男性 605人：女性 844人



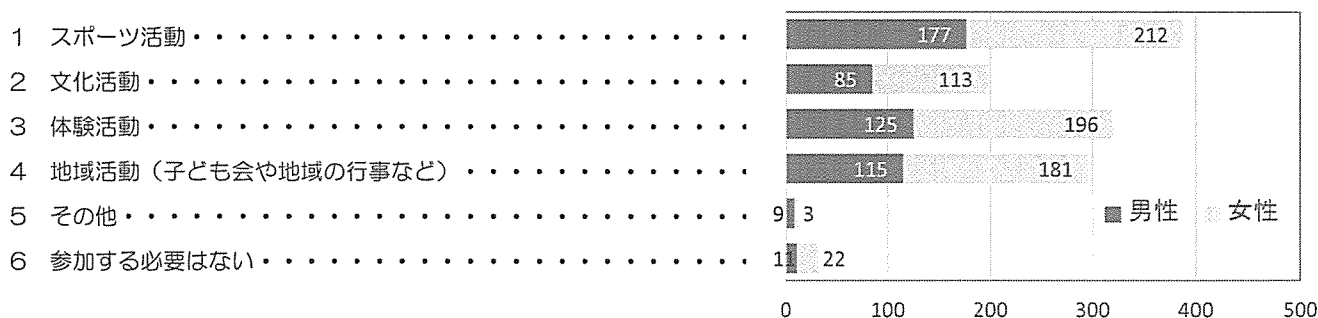
問8 問6で「1. 行いたい」もしくは「2. どちらかと言えば、行いたい」を選択した方に
お聞きします。あなたは、今後どのような生涯学習を行いたいですか。

男性 490人：女性 795人



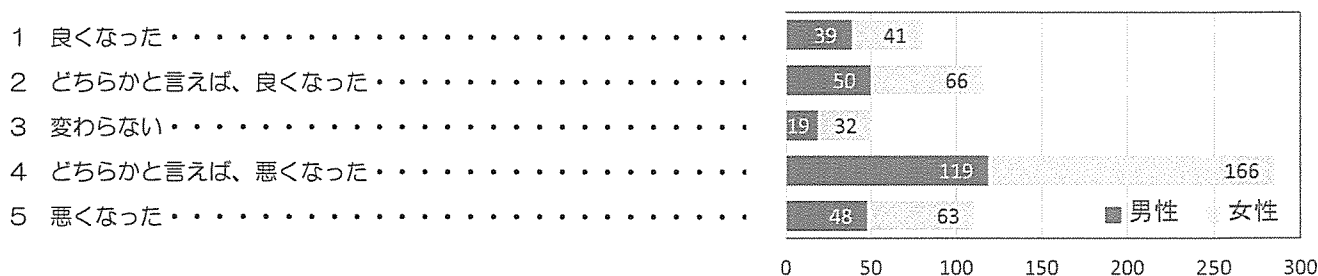
問9 あなたは、子どもが、放課後や土日等の休日に、どのような生涯学習活動に
参加したらよいと思いますか

男性 522人：女性 727人



問10 あなたは、ご自身が子どもの頃と比較して、今の子どものスポーツや
外遊びの環境はどのように感じますか

男性 275人：女性 368人



○遊ぶ環境・遊び方に関すること

- ・遊び場が少なくなった。車社会で危険度も増し治安も悪くなり子どもが伸び伸びと遊べなくなった。
- ・遊び場が整備されている。親の手伝いがいらなくなった。親の理解も昔よりある。
- ・あまりにも安全安心と騒ぎ、子どもが遊べる環境がなくなっている。
- ・親が子どもを安心して遊ばせることができる環境が減った。
- ・近所で自由に遊べる（野球やサッカー）場所が少なくなった。
- ・近所に子どもたちが安全で自由に遊べる場所や公園など作ってほしい。
- ・近所に友達が少なくなった。誰かがついていないと心配で外で遊ぶ事が不安。近所のみんなが集まって（学年関係なし）遊ぶ。ボス（良い意味で）的な人がいなくなった。習い事が多すぎる。
- ・熊が出没するようになり安心して外遊びが出来ない。
- ・公園が整備され遊ぶ場所が増えた。
- ・公園が整備されていない。外で遊ぶとうるさいと注意される。
- ・公園やコミュニティセンターなど整備されて良い。
- ・子どもが遊びやすい公園などが整備されている。
- ・子どもが集まって遊べる場所が増えた。
- ・子どもが安心して遊べる環境でなくなった。親自身も遊び方がわからない人が増えた。
- ・子どもたちが外遊びする場所が少なくなった。子どもの数が少なくなり、子ども同士で遊ぶ機会が少なくなっている。
- ・子どもたちが外遊びをしなくなった。親が干渉する。年長のリーダーがいたがそのような傾向がなくなっている。
- ・子どもの声等に文句を言う大人が増え自由に遊べなくなった。
- ・外遊びしている子どもが少ない。公園でゲームをしている。
- ・外遊びをするというよりも、スポーツチームに入って運動するというのがあたりまえになった気がする。公園もだれもいないし、そこで1人遊ばせるのもなんとなく危ない気がする。親としてはチームに入って運動（遊び）してもらった方が安心する。
- ・外で遊ばせるのが危ない時代なので自由に遊ばせることが出来ない。バランスのとれた身体能力が育ちにくいと思う。スポ少等の子どもたちだけが運動能力が発達して差がついてしまう。
- ・外で遊ばなくなり、自然と触れ合う機会が減った。
- ・外で遊んでいる子どもが少ない。あいさつもあまりしない。
- ・外で子どもが遊んでいる姿を見かける事が少なくなった。私達の時代は男女一緒に遊んだり走ったりアウトドア的な遊びもよくしたと思う。健康的だった気がするが、今は治安も悪く安易に外で遊ぶ事も難しい気もするので少し残念な気もする。
- ・外で地域の人達や上の人達を見て教わり挑戦することが出来たが、現在の子供達は家族・個人で体験されている。
- ・少子化で子どもの数が少なくなっているせいか、外遊びする子どもたちがほとんど見られなくなった。私達のころは、朝から晩まで地域の子供たち全員で遊んだものだ。
- ・少子化で地域で子どもが少なく集団で遊びができない。全般に外遊びが少なくなった。
- ・個人の選択肢が増えたため仲間で遊ぶ必要がなくなった。
- ・子どもが多かったころは年長から年少まで一緒になって遊んでいた。上級者は下級生を面倒みるという自然のルールが出来上がっていた。
- ・子ども自身が忙しくなりスポーツや外遊びの機会や時間がなくなっている。
- ・子どもたちが自主的に自由に気を使わずに安全に外遊びする環境がなくなった。
- ・子どもたちが自由に遊べず、人とのつながりや人間関係の接し方も上手に出来なかったり伸び伸びと、危険なく子ども同士混じり合える場所があるとよい。

- ・子どもたちが自由に遊べる場所が無くなったように思います。
- ・子どもたちでのいろいろな遊びよりゲームが多く遊びが狭くなった。
- ・子ども同士の遊びに工夫がない。
- ・子どもに自由がなく、遊びや生活や体験すべて大人に管理されている。リーダーになっている子どもがいない。子ども同士のつながりが希薄になった。
- ・子どもの数が減り近所に一緒に遊ぶ子どもがいなくなっている。塾通いなどで外遊びの時間がなくなっている。
- ・子どもの頃は、地域の年の近い子どもと一緒にかんけりやかかけっこなど自分たちで遊びを作って楽しんでたが、最近は子どもが遊んでいる姿を見たことがない。
- ・室内施設は充実してきていると思うが外遊びについては遊べる場所がとても少ないし見守る人も少ない。子ども同士で外遊びする機会が減っていると思う。遊びの工夫する力も弱くなっていると思うから。
- ・自分は小さいころは、一人でいることがなかったように思う。活発だったからではないのと言われるかもしれないが、そうではなかった。遊びのグループはいろいろあったが、誰とも遊ばず家にいることが少なくなかったからかも・・・昔は子どもの遊ぶ声が外で聞こえなかった日はなかったように思う。
- ・両親が共に働いているので自由に遊べない。伸び伸びした気持ちを大切にしてほしい。
- ・私が子どもの頃と比べると子どもが少なくなったせいか元気に遊んでいる姿や声を見掛けたり聞いたりすることがなくなったように思います。寂しいかぎりです。環境が良くなったか悪くなったかはわかりません。
- ・私が子どものころは、上級生、下級生皆で遊びました。今は子どもも少なくなったのかあまりみられなくなった。
- ・インターネット、携帯電話の普及により言葉のつながりがなくなった。
- ・インターネットやゲーム中心。親は楽かもしれません。
- ・ゲーム・PCによって外に行く機会が減った。
- ・ゲームがあまりにも身の回りにあふれていて外遊びが減ってきている。
- ・ゲーム等に夢中・集団遊びできない。スポ少での家族の負担増、親の都合でうまくいかないことが多くなった。
- ・ゲーム等の普及により、外で遊ぶ子どもがいなくなっている。スポーツはいろいろなことにチャレンジして自分に合ったスポーツを見つけることは良い。
- ・ゲームや塾で外遊びが減ったと思う。
- ・スマートフォン、インターネット、ゲーム機などの普及により、スポーツや外遊びへの関心の低下がある。
- ・パソコンやスマートフォンから目を離さないような日常生活が多く、自然に触れる機会が減っているように思います。
- ・室内でゲームをすることが多くなった。部活やクラブ活動に親が参加しなければならなくなった。

○社会環境・生活環境に関すること

- ・子どもに対し、社会全体がやさしくなったように感じます。
- ・交通事情や防犯意識を強く懸念するようになった。
- ・交通量が増え道路や広場で遊べなくなった。
- ・安全が重視されすぎて楽しいものがなくなった。
- ・親のエゴが入りすぎている。子どもでいる時間は人生のごく少ない時なのでもっと大切にしてほしい。
- ・核家族化、地域関係の希薄化、習い事で外遊びがなくなった。
- ・協同、共同、協調しあう人間性が欠けてきている。
- ・子どもの数は減ったが、親は一生懸命になった。

- 子どもの減少による集団活動の不足。
- 子どもの人数の減少、核家族化、ゲーム機の普及、子どもが巻き込まれる事故などのテレビの放映が不安感を増大する。
- 時代によって変化するので一概には良い悪いとはいえない。
- 時代のニーズに合わせた環境の整備になっているので判断はしにくい。スポーツ施設は充実してきていると思われるが、気軽に外遊びができるようなものでもなく、まして、外遊びをするような時間は子どもたちには少ないと思われる。
- 自分で行動すればいろいろな活動ができる状況にある。
- 社会環境は良くなっている。人間関係は希薄化している。
- 社会全体の環境が良くなった。
- 社会の変化により子どもを取り巻く環境が大きく変わっている。地域の子どもの外で遊んでいる姿が見えない。
- 自由がなさすぎる。ゲームがメインとなり、自然との触れ合いがない。人間関係もできていない。
- 小学生のうちからスポ少などの活動が熱心で充実している。外遊びの環境は、公園等で子どもだけで遊ぶ姿を見かけない。
- 少子化、遊ぶ場所がない、塾・習い事で時間がない。
- スポ少や習い事などお金がかかるものが目に付く。
- 地域活動に力を注いでいた大人が多かったが、現在は特定の大人が頑張っているだけで地域の子どものためにという風土が失われている。
- 地域や行政での協力体制が充実していて、安全で安心した環境での活動が出来ているように思います。
- 常に大人の関わりや制約や管理のもとに置かれ自由がない。
- 共働きが増え家庭での外遊びの時間が十分にとれない。
- 犯罪が増えて外で遊びづらくなったと思う。
- 不審者など危険性が多くなった。家の中で遊ぶ事が多くなり外に出ることが少なくなった。
- 不審者などに敏感になり、あまり外で遊ばせない。
- プライバシーが強調されすぎて、他人に干渉できず注意する大人がいないから逆に危険。
- 欲しいものがあればすぐにで買う事が出来る時代になった。
- 身近にいろいろな施設があり、やる気さえあれば何でも出来る環境になっている。
- 昔は、なにをするにも保護者がついてなくてはならないというのがなかった。けど、今はそれが誰かが必ずついていなくてはならなくなり、安全になったとはすごく感じるようになった。
- 昔よりも車が増えて危険が多くなったり、それに伴い公園等の遊ぶ場所も減っているように思う。また、私自身がそうであるように夫婦共働きの家庭が増えているので、子どものスポーツや外遊びに親が取れる時間も減っているのではないかな。
- 夕方遅くまで高学年・低学年も一緒に遊んだが、今は習い事や塾通いみで忙しく、日中でも不審者に近づかれるなど物騒な社会環境になった。
- 確かに、自身の幼少時代に比べれば、学校の生活は、はるかに向上していると思います。しかし、いじめや、教師・保育士等による事件が毎日取り上げられる度、思うことは私たちの幼少期にたくさん体験したようなざさいなことすら、今は耐えがたくなってしまっているのだと思うのです。世の中の進むことは大変ありがたいと思いますが、小さな子どもや青春期の時代は、そんなに簡単に人生をあきらめてはならないはずです。もっと強くもっとたくましく育てる社会を望みます。

○スポーツ環境に関すること

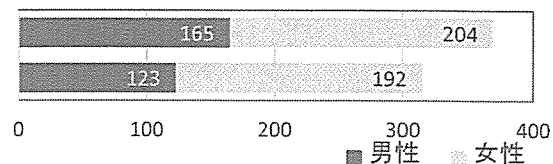
- ・ 少子化等により身近な遊びの機会が減った。社会環境が悪く子どもが外で自由に遊べない。
- ・ スポーツ環境・設備等は良くなったが外遊び等は悪くなった。
- ・ スポーツ環境は設備も充実し良くなったが、外遊びの環境は悪くなった。昔に比べて危険が増えた。
- ・ スポーツ教室などスポーツを教えてもらえる機会が増えている。
- ・ スポーツサークルが多くなった。スポーツ施設の充実。
- ・ スポーツ施設・環境は良くなったが、外遊びする場所が少なくなり子どもの声が聞けなくなった。
- ・ スポーツ施設はよく整備されているが、子どもたちが自由に遊びまわる安全な野外の空間が確保されていない。
- ・ スポーツ施設は良くなっているが、外遊びは環境が悪くなっている。
- ・ スポーツでは親の干渉があり子どもの自主性や主体性に影響がある。外遊びでは自由な行動力がない感じがする。
- ・ スポーツ等の施設が整っていて、親が子どもに対して協力的である。
- ・ スポーツに関しては、大人が協力的でいいと思う。
- ・ スポーツに関しては指導者や夜間の照明等が整備された施設があり管理されて状態で活動ができる。
- ・ スポーツについては、学校での部活動などもあるので、そうは思わないが、外遊びに関しては、自分が子どもの頃に比べると悪くなったように感じる。ゲームなど家の中で過ごす時間が多くなったのではと思う。また、外に出ると心配な事もあるし、いろいろな事件も近年増えている。
- ・ スポーツの場合は施設が多く良いと思うが、外遊びの環境は悪くなったと思う。
- ・ スポーツの幅は広がり良いと思うが、治安の悪さから外遊びの環境は悪くなった。
- ・ スポーツは家族みんなで力を入れている。
- ・ スポーツは指導者の付き添いが絶対必要な状況になっている。外遊びは、親が付き添っている子ども以外ほとんど見かけない。
- ・ スポーツは良くなった。外遊びは車も多いし、野原や小川が少ない。
- ・ スポーツをする環境、指導者等がすごく良くなった。
- ・ 選択項目が増加した。施設が充実している。
- ・ 専門知識や技術のある人が多くなってきている。
- ・ 誰でも好きなスポーツができる。
- ・ プール等設備環境が良くなっている。
- ・ 野球を今も行っているが、昔と違い、指導者が経験者でありグラウンドが多く用具も自分に適したものを選ぶことができる。活動時間も開始終了時間があり休日もあり予定が立てやすい。市からの支援や配慮も多く県大会規模の試合を近くで観戦参加できる。
- ・ 子どもたちがの合宿できる施設があったらと願っています。
- ・ 施設の設備や道具が充実している。
- ・ 指導者がしっかりしている。たまに過剰すぎる面も見受けられる。
- ・ 選択肢が増えた。主にスポーツ方面でのものなので文化的な側面でも進展が必要。

『運動・スポーツに対する意識や活動』

問12 あなたは、過去1年間に運動やスポーツをしましたか。

男性 288人：女性 396人

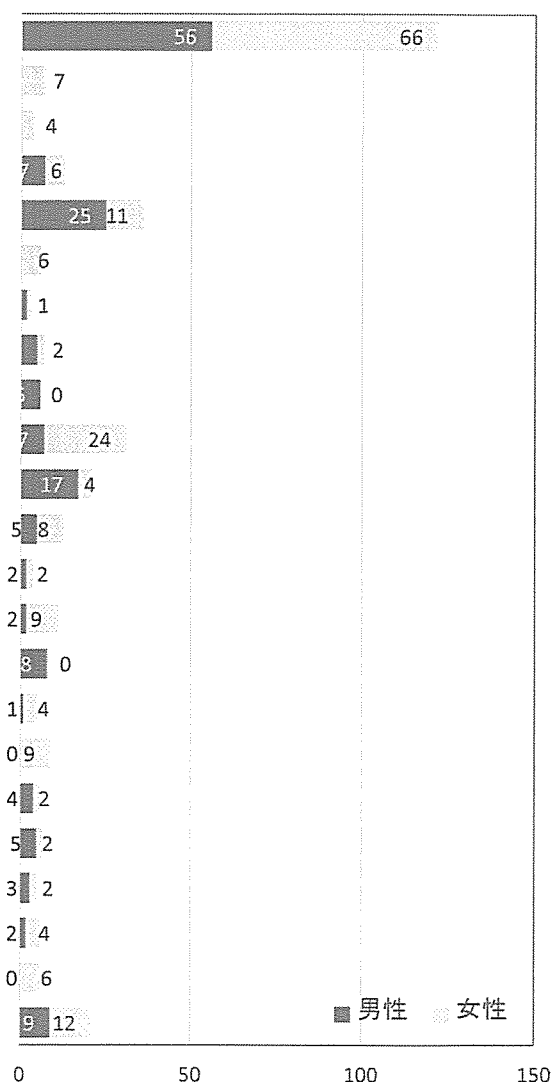
- 1 はい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2 いいえ→問15へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



問13 問12で「1. はい」を選択した方にお聞きします。あなたが、過去1年間に実施した運動やスポーツは何ですか。また、どの程度、どのように、どこで行っていますか 男性 166人：女性 191人

◆運動・スポーツ種目名◆

- ウォーキング（犬の散歩・買い物、散歩）・・・・・・・・・・・・・・・・・・
運動会・体育祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
エアロバイク・エアロビクス・エクササイズ・・・・・・・・・・・・・・・・
筋トレ・・
グラウンドゴルフ・ゴルフ・パークゴルフ・・・・・・・・・・・・・・・・
健康体操・・
剣道・合気道・太極拳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
サイクリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
サッカー・フットサル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
体操・・
ジョギング・マラソン・ランニング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
水泳・・
スキー・・
ストレッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
野球・ソフトボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
卓球・・
ダンス（踊り・社交・ジャズ・フラ・レク）・・・・・・・・・・・・・・・・
テニス・ミニテニス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
登山・里山散策・トレッキング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
バスケットボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
バトミントン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
バレーボール（ゴム・ビニール含）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



◆実施頻度◆

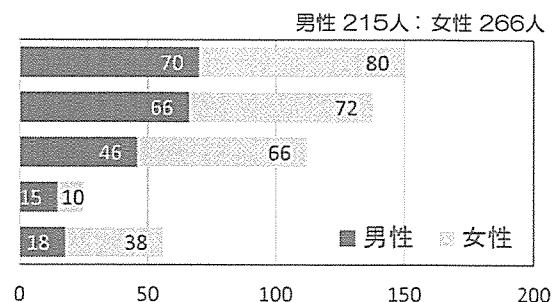
週に3日以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

週に1～2日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

月に1～3日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

3ヶ月に1～3日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

年に1～3日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

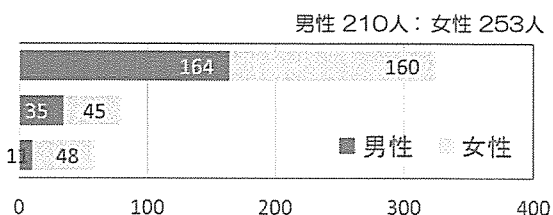


◆方法・機会◆

個人的に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

クラブ・チーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

教室やイベント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



◆場所◆

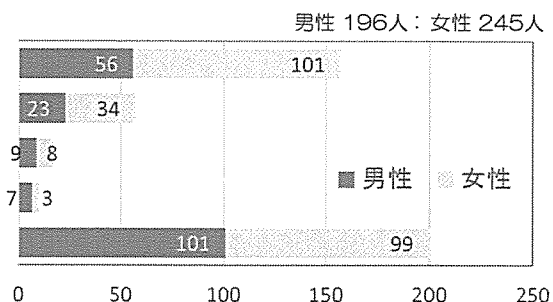
公共施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

民間施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学校体育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

企業や職場施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

公園・道路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



問14 問12で「1. はい」を選択した方にお聞きます。あなたが運動やスポーツを行う目的は何ですか。

男性 432人：女性 523人

1 健康・体力づくり・・・・・・・・・・・・・・・・

2 楽しみ・気晴らし・・・・・・・・・・・・・・・・

3 運動不足の解消・・・・・・・・・・・・・・・・

4 精神修練や訓練・・・・・・・・・・・・・・・・

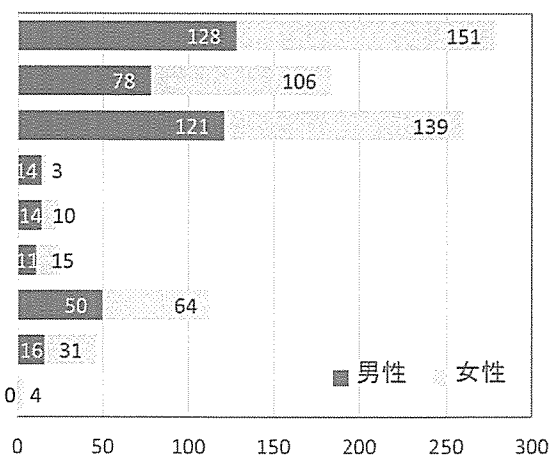
5 自分の記録や能力の向上・・・・・・・・

6 家族のふれあい・・・・・・・・・・・・・・・・

7 友人・仲間との交流・・・・・・・・

8 美容・ダイエット・・・・・・・・・・・・・・・・

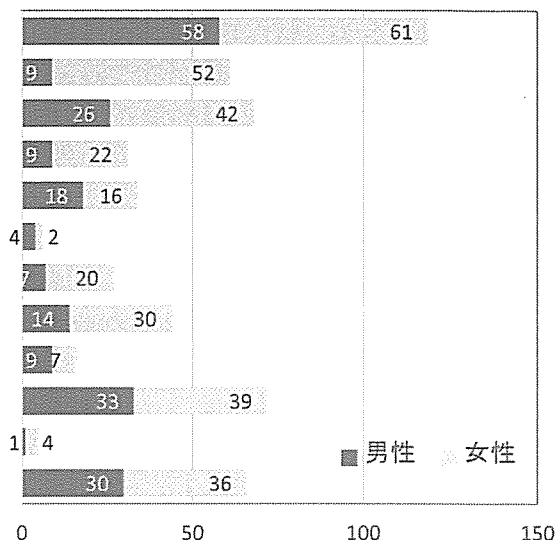
9 その他・・・・・・・・・・・・・・・・



問15 問12で「2. いいえ」を選択した方にお聞きします。あなたが、過去1年間で運動やスポーツをされていない理由は何ですか。

男性 218人：女性 331人

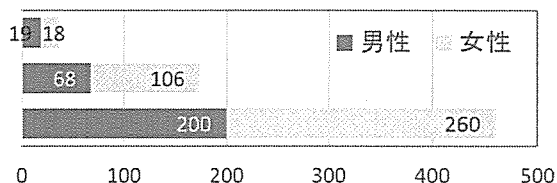
- 1 仕事が忙しくて時間がない
- 2 家事が忙しくて時間がない
- 3 病気や高齢など身体的な理由
- 4 身近に場所や施設がない
- 5 一緒に活動をする仲間がいない
- 6 指導者がいない
- 7 費用がかかる
- 8 苦手、嫌い、興味がない
- 9 必要な情報が入手できない
- 10 はじめるきっかけがない
- 11 その他
- 12 特に理由はない



問16 総合型地域スポーツクラブについて知っていますか。

男性 287人：女性 384人

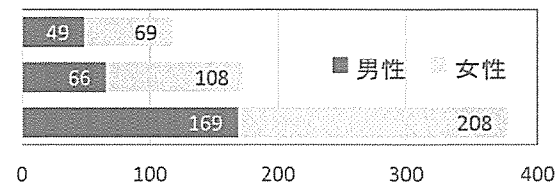
- 1 内容まで知っている
- 2 言葉だけは聞いたことがある
- 3 知らない



問17 あなたは、現在、運動やスポーツのクラブ、サークル、同好会などに参加し

男性 284人：女性 385人

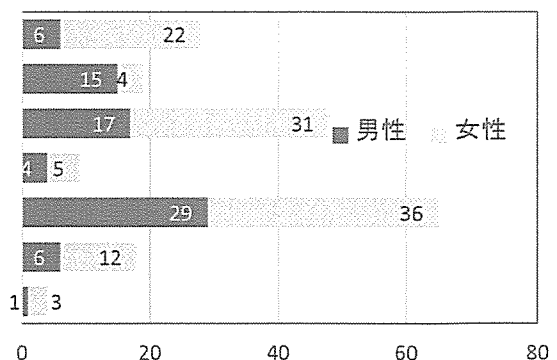
- 1 参加している → 問18へ
- 2 参加していないが、今後は参加したいと思う → 問19へ
- 3 参加しておらず、今後も参加したいと思わない → 問20へ



問18 問17で「1. 参加している」を選択した方にお聞きします。あなたが現在参加しているのはどのような運動やスポーツのクラブ、サークル、同好会ですか。

男性 78人：女性 113人

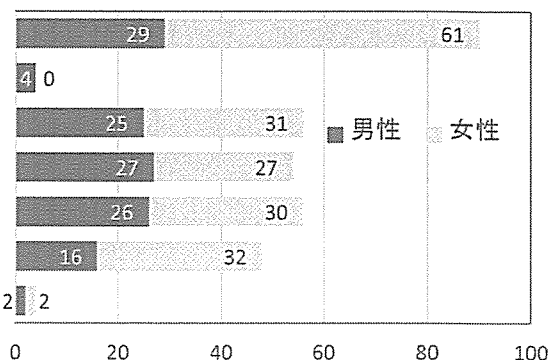
- 1 市が主催している講座や教室
- 2 職場や学校のクラブ、サークル、同好会
- 3 地域や地区のクラブ、サークル、同好会（総合型地域スポーツクラブを除く）
- 4 総合型地域スポーツクラブ
- 5 友人や仲間で開催しているクラブ、サークル、同好会
- 6 フィットネスクラブや民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブや教室
- 7 その他



問19 問17で「2. 参加していないが、今後は参加したいと思う」を選択した方にお聞きします。

あなたは、今後、どのような運動やスポーツのクラブ、サークル、同好会に参加したいですか 男性 129人：女性 183人

- 1 市が主催している講座や教室・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 職場や学校のクラブ、サークル、同好会・・・・・・・・
- 3 地域や地区のクラブ、サークル、同好会（総合型地域スポーツクラブを除く）
- 4 総合型地域スポーツクラブ・・・・・・・・・・・・・・・・
- 5 友人や仲間で構成しているクラブ、サークル、同好会・・・・・・・・
- 6 フィットネスクラブや民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブや教室・・・
- 7 その他（ ）



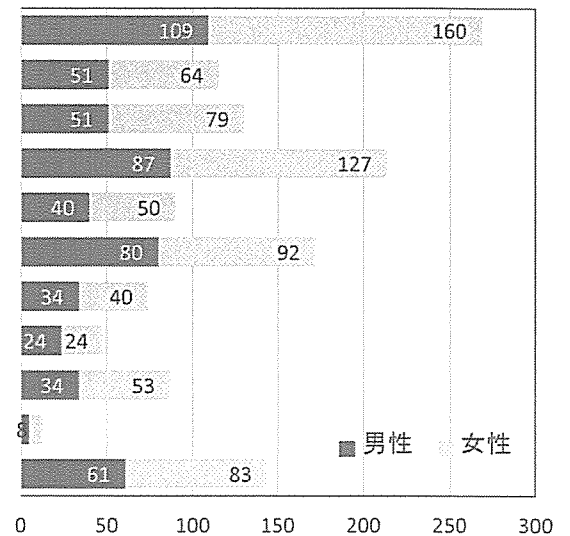
『湯上市の生涯学習・スポーツに関する施設や事業等について』

問20 あなたは公民館、図書館、体育施設などの生涯学習施設を知っていますか。また、知っている方は、過去1年間で知っている施設をどの程度利用されましたか。さらに、今後利用したいですか。

施設名		認知数		利用頻度	利用意向	
		知っている	知らない	(回/年)	利用したい	利用したくない
社会 教育 施設	1 天王公民館	185	412	4.6	230	221
	2 昭和公民館	243	326	2.2	209	219
	3 飯田川公民館	292	271	1.7	160	245
	4 図書館(本館)	192	367	5.9	303	132
	5 図書館昭和分館	313	223	1.0	149	228
	6 図書館飯田川分館	358	175	0.1	119	248
	7 図書館追分分館	298	240	0.5	154	231
	8 郷土文化保存伝習館	313	235	0.2	143	230
体 育 施 設	1 天王総合体育館	142	458	3.3	227	184
	2 天王B&G体育館	211	360	0.5	134	240
	3 昭和体育館	257	312	0.3	132	235
	4 飯田川体育館	311	252	0.2	102	259
	5 天王剣道場	347	209	0.4	45	298
	6 天王柔道場	351	201	0.0	39	304
	7 昭和武道館	367	174	0.1	45	291
	8 飯田川ふれあいスポーツ会館	395	147	0.9	88	255
	9 長沼球場	92	488	0.5	99	275
	10 天王一向球場	224	342	0.1	69	289
	11 元木山球場	116	457	0.4	103	271
	12 飯田川グラウンド(野球場)	348	199	0.1	56	283
	13 野村多目的運動広場	444	87	0.0	50	280
	14 鞍掛沼公園	218	346	1.0	122	237
	15 元木山陸上競技場	158	424	3.0	117	258
	16 天王グランパスくらかけ	143	446	3.7	163	234
	17 昭和グラウンドゴルフ場	351	204	0.4	109	257
	18 飯田川二荒山グラウンドゴルフ場	390	167	0.3	87	264
	19 天王B&Gプール	220	350	0.4	126	246
	20 飯田川B&Gプール	324	231	0.3	108	243
	21 天王中央庭球場	440	97	0.0	49	279
	22 長沼テニスコート	331	221	0.0	80	268
	23 天王緑の健康広場テニスコート	477	53	0.0	56	272
	24 長沼球技場	234	333	0.0	87	264
	25 昭和介護予防センター	432	104	0.1	78	254
	26 勤労青少年ホーム体育館	316	236	1.8	97	255
	27 公民館のホール	288	276	0.5	133	228
	28 小中学校の体育館	157	419	4.2	132	230
	29 天王海洋センター(艇庫)	414	128	0.0	44	284
	30 その他	163	16	0.8	29	130

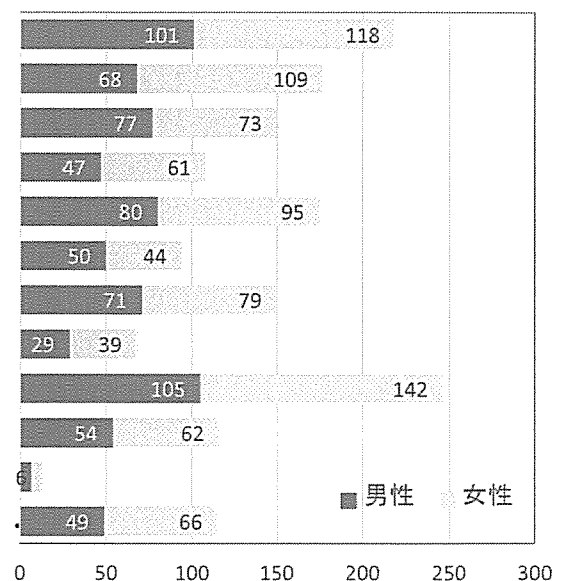
問2-1 今後、生涯学習の推進を図るために、潟上市が力を入れるべき点は何だと思いますか 男性 576人：女性 780人

- 1 公民館等の生涯学習施設におけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、施設間）
- 2 生涯学習に関する専門職員（社会教育主事、司書、学芸員など）の育成・配置・・・・
- 3 生涯学習を支援する地域の人材（学習相談や学習会場のコーディネーターなど）の育成・
- 4 情報を一元化して提供するなど、生涯学習に関する情報提供・発信の充実・・・・
- 5 学校施設の地域活動への開放・・・・
- 6 住民のニーズや満足度などの把握と施策等への反映・・・・
- 7 社会教育団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化、活動の支援・・・・
- 8 生涯学習を通じて身につけた成果や、成果をいかした活動に対する社会的評価促進（活動）
- 9 生涯学習活動を発表・展示をする文化会館的施設の整備・・・・
- 10 その他・・・・
- 11 特になし・・・・



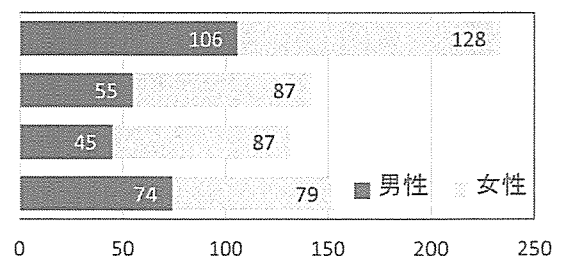
問2-2 今後、スポーツの推進を図るために、潟上市が力を入れるべき点は何だと思いますか 男性 738人：女性 894人

- 1 各種スポーツ教室、イベント、大会などの開催・・・・
- 2 地域のスポーツに関するクラブやサークルの支援・・・・
- 3 スポーツ指導者の育成、確保・・・・
- 4 スポーツ指導者を紹介・活用する制度（システム）の充実・・・・
- 5 スポーツに関する広報や情報発信の強化・・・・
- 6 学校体育施設の地域への開放・・・・
- 7 公共スポーツ施設等の整備・・・・
- 8 スポーツボランティアの育成・支援・・・・
- 9 健康・体力相談やトレーニング指導などのサービスの提供・・・・
- 10 大規模なスポーツイベント、大会などの誘致・開催・・・・
- 11 その他・・・・
- 12 特になし・・・・



問2-3 潟上市において「複合機能を持つ文化会館的施設」が必要だと思いますか。 男性 280人：女性 381人

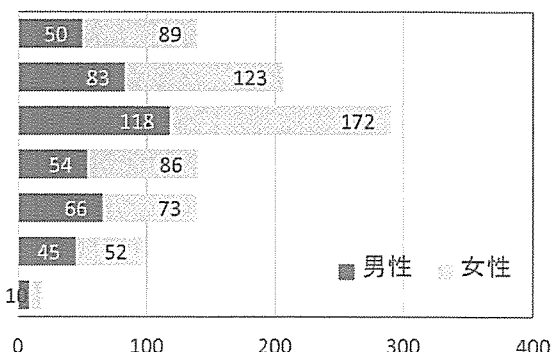
- 1 必要だと思う・・・・
- 2 どちらかというと必要・・・・
- 3 現在の公民館等で十分である・・・・
- 4 新たな施設は必要ない・・・・



問24 問23で1または2と答えた方にお聞きします。「複合機能を持つ文化会館的施設」が設置された場合に、
どのようなイベントや行事が行われることを期待しますか。

男性 425人：女性 605人

- 1 公民館等で行われている教室・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 文化講演会などの記念行事・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3 コンサートや芸能発表会・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 郷土芸能などの民俗伝承行事・・・・・・・・・・・・・・・・
- 5 市民が参加できる屋内スポーツ大会・・・・・・・・・・・・
- 6 文化財などの資料を公開できる展示場・・・・・・・・・・・・
- 7 その他、希望するものがありましたらご記入ください・・・・・・・・



7 その他、希望するものの回答

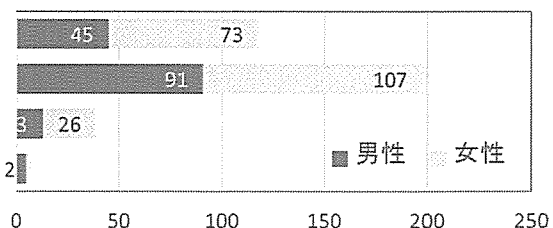
映画が見られる施設
オーケストラ、音楽、落語
絵画や写真を展示するスペースがあるといいと思う
北秋田市の総合プラザのような施設
劇団四季
子どもが参加できるイベント
コンサートをやってほしい
常設展示場
小中学校の文化部の発表や展示を活発に行う。一般の人でもできればよい
食の祭りなど
吹奏楽コンクール
スポーツジム、屋内プールの併設
団体でも個人でも利用できる施設、プールなども完備
図書館・子育て支援センター・カフェが揃っている施設は便利、いろいろな世代の人が活用できる施設がよい
八郎潟環境改善センターの様な施設があれば多種多様な行事に対応できそう
マジックショー、映画、落語、漫才など
民間団体の講座への場所の提供
民間の演劇公演
ロックバンド、アイドルなどの全国ツアーなどに使えるライブ会場

問25 問23で1または2と答えた方にお聞きします。「複合機能を持つ文化会館的施設」

が完成した場合、あなたは施設を利用しますか。（○は1つ）

男性 154人：女性 208人

- 1 必ず利用する・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 たぶん利用する・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3 あまり利用しないと思う・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 利用することはないと思う・・・・・・・・・・・・・・・・



○複合施設に関すること

- ・ 秋田県内の市で大型の文化施設がないのは潟上市くらいではないか。
- ・ 秋田市側に近いので施設の利用はしないと思う。文化会館のような施設があるといいと思う。
- ・ 潟上市にはいい施設があるがイベントはほぼ秋田市や男鹿市で行われるので残念。現在の施設をもっと上手に活用して大会等を行えば子ども達にも刺激を与えられるのではと思う。
- ・ 潟上市には映画館がないので、既存の建造物でもよいので上映できる施設とある程度人数が入る施設があればよい。映画鑑賞をイベントの一つにしてほしい。
- ・ 潟上市の人口と施設を造った後の維持費等を考えると必要ない。
- ・ 文化会館的施設はあった方がいいと思います。もし、新しく建てる事があるなら、津波タワーとしても使用できるように高さも少しあるものがよいのではないのでしょうか。
- ・ 芸術に触れあう場所、音楽等を楽しめる場所が秋田市まで行かなくてもあればいいと思う。名画や県内外国内外の歴史などを見分できるスペースが必要と感じる。
- ・ 現施設の使用頻度の向上方法も考えることが必要。
- ・ コンサート・講演などが出来る施設は必要。
- ・ コンサートが開ける施設があったらうれしい。
- ・ 準備や後片付けが大変になってきているので、文化会館的施設の建設を希望する。
- ・ 少子高齢化や人口減少社会が加速していくためハコモノへの税金は不要。人のために金を使ってほしい。将来に借金を残してほしくない。
- ・ 図書館とカフェ、公園とスポーツ施設、赤ちゃんから中学生まで使える遊び場など家族一緒に楽しめる施設があればよい。世代間交流もすすむのではないか。
- ・ ハード面よりもソフト面に力を入れたら良い。箱物だけが整い結局はあまり使われず無駄が多い。
- ・ 複合機能を持つ文化会館的施設がないから他市町村へ出向くので、地元への関心が薄くなる。
- ・ 複合施設の新設は不要。秋田市に隣接しているので、コンサートや講演は見に行ける。それより草の根的なサークルや教室の充実に尽力すべき。
- ・ 文化会館の建設など合併前の各委員会で話し合われたことの実行や検討をお願いしたい。
- ・ 文化会館を作れば、その他教育施設や体育施設の統廃合はやむを得ない。カフェや演奏スペースなどの明るい雰囲気のある場所を作るといい。
- ・ 文化施設には①図書館分館的機能②子育て世代用スペース③（外部企業等の）カフェコーナーなど小規模であっても設けていただきたい。
- ・ 文芸協でも文化施設が欲しいとの声がある。公民館等が現在三か所に分散しているが、一か所にまとめられたら情報交換等も容易になるのではないかと思う。

○公民館に関すること

- ・ 天王公民館の設備を整えてほしい。
- ・ 天王公民館が老朽化しているが、一番の問題点は使い勝手が悪いこと。
（放送設備、更衣場所、照明、舞台からの入退場など）
- ・ 天王公民館の老朽化対策が急務。各地区で活動するスポーツ、サークル等を紹介してほしい。

○図書館に関すること

- ・ 図書館の閉館時間が早い。仕事帰りに利用できない。
- ・ 図書館は蔵書・展示も工夫されておりリクエスト対応もよい。閉館時間を19時にしてほしい。生涯学習の大きな拠点図書館だと思う。

○スポーツ施設に関すること

- ・ 潟上市では文化・スポーツの拠点がない。各種施設が分散している。一大拠点を設けスポーツなどの合宿地として誘致してほしい。
- ・ グリーンランド周辺にスポーツ施設が欲しい。
（温泉を利用したプール・ストレッチジム等）
- ・ 体育館の貸切が多く利用ができない。予約がない開放日を設けるべき。
- ・ 体育施設は利用したくないではなく、利用する機会がないです。誰もが気軽にからだを動かせるようなスポーツ器具も揃えてほしい。
- ・ 冬期間利用できる「グラウンド」があればと思う。

○方針・イベント・事業に関すること

- ・ 潟上市は自然に恵まれとても住みよい所だと思います。人口減少が予想されていますが、恵まれた環境の中で未来のある子どもたちには伸び伸びと心身ともに健やかに成長できるように、また、高齢者には生きがいを感じられるように、潟上市に在住している人々が明るく健康に過ごすことができますように行政の方にはご尽力お願いします。いろいろと考えてくださりありがとうございます。
- ・ 現在の潟上市は、生涯学習に関心を持つ人が多くなってきていると感じます。三町が一つの市としてよりよく発展していくことを願っています。
- ・ 市主催の各種大会の参加者集めに苦慮している。現実に見合った企画が必要。市内スポ少でも施設維持のため利用料はとるべき。
- ・ 自分のやりたい学習が近くの公民館であれば遠くまで行かずと参加できるのは嬉しい。現在ある講座が少ない人数であれ希望する人がいる限り続けてほしい。
- ・ 受講する場所・施設・講座の種類等の情報が少ない。
- ・ 少子高齢化の影響で活気がありません。何かやろうとしても人がおらず将来どうなるのか不安になります。若い世代は町内行事に無関心で、関わろうとしません。しかし、八郎潟町のはちパルをみると、いろいろな世代が集う場となっていて身近な所にこのような施設があればよいと思います。
- ・ アンケート結果を今後の市の方針に反映してほしい。
- ・ 今ある施設や建物をそのまま活かしてイベント等を行っていけばよい。
- ・ 運動会においても各種スポーツイベントでもいつも限られて人が対象となっています。町内単位で参加するかどうかは町内の人達の意見でなく、先にたっている人が忙しく、人がいないという判断で断っている事が多々あり町内の人達が知らずにいる事が多いと思います。子どもから親までみんな参加出来るスポーツ大会があるといいと思います。
- ・ 追分は人口も多いので目を向けてほしい。勤労青少年ホームでも芸能発表会等楽しみの場を設けてほしい。

○その他

- ・ ハコモノより人材育成に投資すべき。施設は維持管理費等もかかる。人材を育てる方がリターンが大きい。
- ・ 私はスポーツが大好きですが、体が不自由になり出来なくなり残念です。でも少し時間がかかりますが自分の範囲内でまた家事が出来ている事を嬉しく思います。学習とっていいのか夫婦で車いすと押し車を車に積んで旅をしてきました。各地の名所旧跡をめぐり、その土地のすばらしい景色を見て感動し、心が少し豊かになったような気がします。
- ・ 最近越してきたばかりで、近くの状態などはまだよく知らず、1歳3か月の幼児と夫と暮らしていますが、見聞きもままならず居ります。しかし、当市の沢山の親友は細やかな対応には、前宅の町との愛の差を感じます。きっと将来ある市であると信じられますし、期待しております。
- ・ 未来の潟上市を考えがんばってください。